

令和8年7月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較(C-B)	F 対前年比較(D-B)
1 調定件数	件	28,047	116,414	120,500	120,885	△ 4,086	△ 4,471
※免除前	件	30,051	120,378	120,500	120,885	△ 122	△ 507
2 調定量	m	586,901	2,367,074	2,388,200	2,424,413	△ 21,126	△ 57,339
3 調定料金(税抜)	円	123,923,950	616,407,904	736,200,000	745,890,579	△ 119,792,096	△ 129,482,675
※免除前	円	181,772,050	732,166,203	736,200,000	745,890,579	△ 4,033,797	△ 13,724,376
4 口振加入件数	件	22,955	94,969	-	98,676	-	△ 3,707

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較(C-B)	F 対前年比較(D-B)
5 調定件数	件	19,562	78,236	78,600	77,792	△ 364	444
6 調定量	m	382,086	1,523,592	1,527,100	1,531,667	△ 3,508	△ 8,075
7 調定料金(税抜)	円	80,263,125	319,972,827	319,200,000	320,722,084	772,827	△ 749,257

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	69,582	-	71,145	△ 1,563
9 給水件数	件	29,955	-	30,028	△ 73
10 開栓処理件数	件	196	1,035	1,053	△ 18
11 閉栓処理件数	件	168	901	938	△ 37
12 給水工事設計審査	件	20	93	133	△ 40
13 給水工事竣工検査	件	43	145	152	△ 7
14 経年メーター交換	件	512	1,313	1,288	25
15 メーター口径変更	件	1	7	14	△ 7
16 督促状発送数	件	1,263	5,422	5,714	△ 292
17 月末停止件数	件	149	-	128	21

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	12	55	81	△ 26
19 排水設備工事完了検査	件	20	72	66	6

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
20 当年度分	143,948,955円	78.77%	221,163,548円	73.04%	5.73%
21 過年度分	3,962,607円	98.00%	3,614,734円	98.18%	△0.18%
22 計	147,911,562円	-	224,778,282円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
23 当年度分	104,775,419円	70.23%	107,554,353円	69.51%	0.72%
24 過年度分	1,304,450円	98.68%	1,162,763円	98.86%	△0.18%
25 計	106,079,869円	-	108,717,116円	-	-

7 下水道受益者分担金・負担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
26 当年度分	14,466,160円	36.89%	16,188,790円	34.39%	2.50%
27 過年度分	1,300,130円	11.27%	1,262,800円	6.92%	4.35%
28 計	15,766,290円	-	17,451,590円	-	-

特記事項

1. 7月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

【水道事業】

ア 収益的収支

当期の給水収益は136,316千円（税込）で、前月期に比べて1,096千円の減、対前年同月比では73,467千円の減となり、物価高騰に対する水道基本料金の免除に伴い、給水収益としては減額となっています。営業収益は136,639千円、営業外収益は雑収益や事務手数料など14,368千円を執行しました。当期の営業費用は原水及び浄水費や配水費など96,485千円、営業外費用は企業債利息として3,310千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、水道加入金198千円の執行となりました。支出は、建設改良費として機器整備など8,116千円、企業債償還金として3,080千円を執行しました。

【下水道事業】

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は88,068千円（税込）で、前月期に比べて436千円の増、対前年同月比では1,969千円の減となっています。営業収益は88,104千円、営業外収益は他会計補助金など453,470千円を執行しました。

当期の営業費用は管渠費や処理場費など90,999千円、営業外費用は企業債利息として4,766千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、受益者分担金や受益者負担金22,923千円の執行となりました。支出は、建設改良費として調査設計費や事務費3,141千円、企業債償還金として165,783千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 上下水道モニター会議を開催

7月28日（火）に第1回上下水道モニター会議を開催しました。会議に先立ち、上下水道モニターを承諾された20名の方に対し、2年間の任期として委嘱状を交付しました。

本制度は、登米地方広域水道企業団当時の昭和60年から、水道事業について地域の需要者の皆さんから広くご意見等を伺い、より良い事業運営とするために開始されたもので、令和2年4月の下水道事業の組織統合を契機に、水道事業及び下水道事業の両事業に対するご意見、ご要望等を伺っております。

会議では、上下水道モニターの活動内容や登米市上下水道事業の概要を説明し、上下水道事業の経営状況や業務内容等について、モニターの皆さんと意見交換を行いました。



(2) 上下水道部職員研修「魅力ある職場づくりに向けて」を開催

7月21日（火）に上下水道部安全衛生委員会の事業として、宮城県労働委員会から講師を招き、労働施策総合推進法に基づくパワーハラスメント等における定義や具体的な類型、裁判例、事業主が講ずる措置についてご講義いただきました。

職場における様々なハラスメントは、働く人が能力を十分に発揮することの妨げになることはもちろん、個人としての尊厳や人格を不当に傷つける等の人権に関わる行為となります。また、企業にとっても職場秩序の乱れや業務への支障が生じたり、貴重な人材の損失に繋がり、社会的評価にも影響を与える大きな問題となります。

本研修を通して、職場における様々なハラスメントについて理解を深めることができ、魅力ある職場づくりに向けて、組織一体となって今後とも取り組んでまいります。



令和8年7月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水 道 施 設 課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項 目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比 較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	803,125	3,133,454	3,327,960	3,340,528	△ 194,506	△ 207,074
総配水量	734,402	2,896,808	2,962,720	3,090,022	△ 65,912	△ 193,214
1 有効水量	615,904	2,481,523	2,542,630	2,563,619	△ 61,107	△ 82,096
(1) 有収水量	591,312	2,384,803	2,406,200	2,442,211	△ 21,397	△ 57,408
(2) 無収水量	24,592	96,720	136,430	121,408	△ 39,710	△ 24,688
2 無効水量	118,498	415,285	420,090	526,403	△ 4,805	△ 111,118
(1) 漏水量	117,958	414,269	417,600	525,189	△ 3,331	△ 110,920
(2) その他無効水量	540	1,016	2,490	1,214	△ 1,474	△ 198
3 有収率	80.52%	82.33%	81.22%	79.04%	1.11%	3.29%

※ 当月期の最大配水量は、7月22日（水）に記録した【25,329m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予 算 (A)		施工中 (B)		竣 工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	61,894	1	54,593	0	0	7,301	88.2%
浄水施設整備事業	2	1,506,556	1	1,481,995	0	3,532	21,029	98.6%
配給水施設整備事業	35	805,534	9	147,967	0	19,986	637,581	20.8%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む。）の合計です。

特記事項

1 国土交通省職員等による保呂羽浄水場現地視察

23日（木）に東日本大震災の復興協議に関する意見交換のため宮城県を訪れていた国土交通省本省の職員が、再構築事業を実施中の保呂羽浄水場を現地視察しました。

建設が進む管理・膜ろ過棟や膜ろ過設備について、設計建設共同企業体の現場担当者から詳しい説明が行われました。

保呂羽浄水場再構築事業に関しては、国の交付金の対象となる事業であるものの、市の要望額に対する交付金額の割合が令和7年度は約55%、令和8年度は約13%と、非常に低い水準になっています。

このような状況を踏まえ、視察当日は、副市長から国土交通省本省の職員に対し、財政面における厳しい現状を直接伝えとともに、今後も円滑な事業運営が図られるよう、交付金の適正な運用について要望を実施しました。

2 秋田県大仙市による保呂羽浄水場再構築事業視察研修

29日（木）に秋田県大仙市上下水道局から4名の職員が来庁しました。大仙市は現在、基幹浄水場である玉川浄水場について、老朽化による更新整備を検討中とのことであり、当市の保呂羽浄水場再構築事業の取組を先進事例として参考とするため、視察研修が行われたものです。

当日は保呂羽浄水場の見学に加え、計画発議・全体構想を含めた事業スケジュール、契約方式、事業の実施方式に関するメリット・デメリット、財源確保等の詳細な内容に関して活発な意見交換が行われました。

なお、8月には福島県いわき市による視察研修も予定されています。



【膜ろ過設備見学の様子】

◎ 漏水調査結果（累計）

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	28	14.690
	付属施設	0	0.000
	給水装置	39	11.520
	計	67	26.210

【漏水調査結果：7月】

○推定漏水量 11.420m³/h

○推定効果額 約2,675千円

○推定効果額算定

・R7年度給水原価 314.78円

・7月推定漏水量 11.420m³/h

・11.420m³/h×24h×31日×314.78円

下 水 道 施 設 課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項 目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	271,832	993,921	947,747	46,174	1処理場
特定環境保全公共下水道	58,275	212,059	205,911	6,149	3処理場
米谷・錦織処理区	10,545	38,689	40,444	△1,755	
豊里処理区	34,792	126,040	117,309	8,731	
津山処理区	12,938	47,330	48,158	△827	
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	11,471	44,824	46,460	△1,636	
農業集落排水	141,868	477,866	432,736	45,131	24処理場
迫地区	10,255	35,270	32,576	2,694	
東和地区	2,678	10,285	10,661	△377	
中田地区	34,675	126,198	123,077	3,121	
豊里地区	1,848	6,614	7,863	△1,249	
米山地区	69,912	216,893	180,847	36,046	
南方地区	22,498	82,606	77,711	4,895	R8.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	44,508	181,475	179,443	2,032	2,311基
合 計	527,954	1,910,145	1,812,296	97,849	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予 算 (A)		施工中 (B)		竣 工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	7	353,449	3	73,268	0	3,294	276,887	21.7%
処理施設整備事業	6	795,751	3	514,888	0	13,533	267,330	66.4%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む。）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

※ポンプ施設整備事業については、令和8年度の予算計上が無いので状況報告から除く。

特記事項

1 佐沼環境浄化センターでコンプレッサーの異常が発生

7月期に佐沼環境浄化センターにおいて、汚泥脱水・薬品溶解供用設備用のコンプレッサーの異常が発生しました。現地確認の結果、配管の腐食によるエア漏れが原因で運転時間が長期化したことにより、過負荷となりサーマルスイッチが作動して停止に至ったものです。エア漏れが生じていた配管を交換し、現在は正常に稼働しております。今後も安全・安心の確保に向け、適切な維持管理に努めてまいります。



【異常が発生したコンプレッサー】

2 市設置型浄化槽の譲与（引継ぎ）に係る説明会を開催

浄化槽の整備手法の変更に伴い、現在、市設置型浄化槽を使用している方などへ浄化槽の譲与を行うことが可能となったことから、6月期に引き続き、7月期に市内の7会場で説明会を開催し、計177名の方に参加いただきました。今後は参加者の中で浄化槽の譲与を希望する方などに対して、9月から個別相談会を開催する予定としております。譲与する浄化槽については、個人管理移行後も適正に使用できるよう、事前に清掃や点検を実施し、必要に応じて修繕などの対応を行ってから、個人への引渡しを進めてまいります。

公共汚水ま
すの照会状
況
(7月末)

照会件数

223件